

平成25年度 高槻市予算編成要望書

平成24年12月10日

高槻市長 濱田 剛史 様

高槻市議会 民主・元気ネット
代表 橋本 紀子

はじめに

貴職におかれましては、本市の健全な行財政運営と市民生活向上に、日夜、御奮闘いただき感謝いたしております。

中央集権から地方分権への流れ、国際化や情報化という大きな状況変化をうけて、21世紀に飛躍するわがまち高槻の都市づくりも重要な時期を迎えています。とりわけ、国と地方の関係の抜本的見直しと、自治分権の拡大と行政能力向上、個性あふれた魅力ある都市づくりが一層求められます。

来年度は、濱田市政が3年目を迎え、マニフェスト実現の為、大事な年であります。諸課題の解決・実現をめざして大綱的な項目について要望いたしますので、予算策定に充分配慮されるようお願い申し上げます。

I. 市政運営

- ・ 中核市としての独自性と分権改革（地域主権）を強力に推進されたい。また、国直轄事業の負担金廃止を求められたい。
- ・ 行財政運営は、「パブリックコメントの導入」「市政の透明性の確保」「市民への説明責任」を果たされたい。
- ・ JR 高槻駅北東地区都市開発事業は全体計画の早期完成を目指し、JR 高槻駅のプラットフォーム拡幅なども含めて、高槻市の玄関口に相応しく整備されたい。
- ・ 第5次総合計画及び実施計画の実行へ、持続的、計画的な市政運営を行い、市民と協働のまちづくりを進められたい。

Ⅱ. 行財政改革

- ・行財政改革を引き続き遂行し、「公共」とされてきた分野にあっても NPO や市民活動への事業委託を図るなど、「官民」の役割見直しを図られたい。
- ・「指定管理者制度」は過去の実績を踏まえ適正・厳正に選定されたい。また、導入後のチェック体制確立や市民満足調査を実施し市民ニーズを把握されたい。
- ・行政評価システムは、事業公開評価会の成果と総括を参考にして、第三者評価、市民参加のあり方を検討し、的確に予算反映されたい。

Ⅲ. 人事制度・人材育成

- ・若手職員の政策形成能力の向上や意識改革など能力開発や人材育成及び、職員研修の強化、部長を含む「幹部職員研修」をさらに充実されたい。又「人材育成基本方針」の積極的な推進に努められたい。
- ・職員は適正な人員構成とバランスの取れた年齢で配置し、社会人採用を含む長期的採用計画を立てて、非常勤・アルバイト職員の待遇改善も図られたい。

1、憩いの空間で快適に暮らせるまち

① 公営交通事業

- ・市営バス売上金一部不明事件の真相究明、再発防止を徹底し、信頼回復への抜本的改革を断行されたい。
- ・「市営バス経営改善計画」に基づき、経営健全化に取り組むとともに、利用者満足度の向上やマイカー規制、違法駐車対策等公共交通の定時運行を確保して利用促進されたい。
- ・コミュニティバスの運行など高齢化社会に相応しい公営交通のあり方や、市民ニーズの把握、公共交通不便地域へのバス運行を検討されたい。

② 上・下水道事業

- ・「経営効率化計画」に基づき、経営健全化に取り組み、集合住宅の直圧給水方式へ転換されたい。
- ・過剰な水需要予測による企業団水供給は、自己水の最大活用で毅然と対応されたい。また、職員配置は技術継承を優先し、若手育成に努められたい。
- ・公共下水道整備計画を踏まえ、市街化調整区域の下水道整備を急がれたい。
- ・市街化区域内未整備区域を解消されたい。
- ・下水道施設の維持管理に必要な下水道台帳を早期に作成されたい。
- ・都市型集中豪雨に対応した下水道を早急に整備されたい。

③ 名神高速道路、関連道路の沿道まちづくり

- ・無秩序な開発の抑制や地域特性に応じた土地利用の規制誘導に、まちづくり協議会などを通して支援を行い、新たな産業立地へ積極的にマッチングを図られたい。
- ・淀川河川敷の鶴殿の歴史的・文化的な価値を尊重し、雅楽の継承の為、ヨシの保全をはじめ、育成に影響が出ないよう十分な、対策を講じられたい。

④ たかつきクリーンセンター第一工場の更新計画

- ・クリーンセンター第一工場建替は、周辺地域の環境に充分配慮されたい。
- ・地域防災計画における災害廃棄物についての見直しを検討されたい。

⑤ 新エネルギー政策

- ・新エネルギー戦略は、実効性を担保する為の予算措置を十分に図られたい。
- ・公共施設への太陽光発電の導入を促進し、各家庭への設置拡大に向け、環境基金と新エネルギー戦略の活用による融資制度を創設されたい。
- ・公共施設でのエネルギー／電力購入は、新エネルギー戦略の実効性を担保した上で、グリーン電力証書の購入や、新規事業者（PPS事業者）からの電力購入を検討されたい。

⑥ 雨水利用の促進

- ・環境市民会議雨水班が行う雨水タンク設置事業と共同しつつ、市における雨水利用への補助制度を始められたい。
- ・公共施設、民間事業所へ大型雨水タンクを積極的に設置されたい。

2、ともに支えあう安全・安心のまち

① 高槻市地域防災計画

- ・計画見直しには、女性・高齢者・障がい者の委員を拡大して登用されたい。
- ・移動式防災無線は、機種が古すぎる為、新規購入計画を策定されたい。

② 幼稚園・小学校への警備員の配置

- ・小学校・幼稚園への警備員を引き続き配置されたい。

③ 若者の雇用

- ・若者の就労環境が依然厳しい状況を鑑み、大阪府やハローワークとの連携を強化し、

就労支援を充実されたい。

④ 勤労福祉政策

- ・ 厳しい雇用情勢を踏まえ、国、府と連携して雇用の確保と創出を図られたい。
- ・ 「ワークサポートたかつき」のより広い周知を図り、情報提供やアドバイス、就業意識を喚起されたい。
- ・ 中小・零細企業労働者の福利厚生面での格差解消の為、労働者福祉事業に対して支援されたい。また、雇用の質の向上(正規雇用)させる施策を講じられたい。
- ・ 公共事業発注及び指定管理者選定は、総合評価入札制度および公契約条例制定をはじめとした最低賃金、労働基準法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援推進法、障害者法定雇用率の遵守義務付けるなど、制度のあり方を検討し、違法のないよう点検指導されたい。

⑤ 高齢者福祉

- ・ 地域包括支援センターの機能を充実させ、高齢者虐待防止と早期発見に繋がられたい。
- ・ 認知症対策を促進されたい。
- ・ 市民後見人の育成により認知症高齢者の権利擁護に努められたい。
- ・ 地域の様々なネットワークやコミュニテイソーシャルワーカーを支援し、安否確認体制を確立されたい。
- ・ 高齢化が進行する中で、支えあいの拠点の整備、充実を図られたい。

⑥ 障がい者福祉

- ・ 障がい者虐待防止センターが機能するよう、市民への周知徹底と無理のない職員体制を整えられたい。
- ・ 障がい者の就労や授産製品の販売を支援されたい。
- ・ 災害時要援護者支援マニュアル<Ⅱ>を策定し、地域での防災訓練等に活用されたい。

⑦ 医療・健康の増進

- ・ 保健所機能を充実させ、関連機関と連携し総合的サービスを提供されたい。
- ・ 保健所職員の計画的な採用と専門職員を育成されたい。
- ・ 保健所で老朽化している各種検査機器を計画的に更新されたい。
- ・ 産科医療体制をはじめ、地域における救急医療体制を各種医療分野で対応できるようさらに整備されたい。
- ・ 三島救急救命救急センターについては、高槻市をはじめ3市1町の三次救体制を確保するとともに、施設の耐震化などの施設整備に取組まれたい。

⑧ 域活動拠点の整備

- ・公民館、コミュニティセンター等、地域活動拠点施設の空白地域の実情を把握して整備されたい。

⑨ 生活福祉

- ・ケースワーカーの配置数を増やして負担を軽減し、就労支援に積極的に取組まれたい。

⑩ 民生委員・児童委員

- ・選考制度について研究し、引き続き空白地域の解消に努められたい。

⑪ 自殺予防対策

- ・総合計画に掲げた自殺率減少の目標値を確実に達成する為、自殺予防対策を力強く推進されたい。

3、子育て・教育の環境が整ったまち

① 待機児解消

- ・保育所では、保育計画整備年次の前倒しを引き続き行いながら、待機児の解消に向けて取組まれたい。
- ・学童保育は2室目の整備をさらに急ぎ、待機児解消と環境整備・改善を進められたい。また、学童保育職員の安定雇用と労働条件の改善に努められたい。

② 少子化対策・子育て支援

- ・休日保育、夜間保育、一時保育、病児・病後時保育の整備・拡充等多様な保育制度を検討し、待機児解消を図られたい。また、子育て支援センターの拡充や、子育て総合支援センターを軸とした児童虐待対策、相談窓口を充実されたい。

③ 虐待防止機能の強化

- ・児童虐待相談に対応できる支援体制の強化とネグレクト問題解決の為の対策をさらに推進されたい。

④ 教育環境の充実

- ・教育委員会制度を順守し、教育への政治的介入を一切行わないことを、様々な機会に明確にされたい。

- ・ 中学校給食は、現場をはじめ関係機関との十分な意思疎通を図り、先の課題を克服して、最善の方法で滞りなく実施できる準備をされたい。
- ・ 学校図書館は、中学校に配置された支援員を当分の間、継続配置し中学校における図書館の充実に努められたい。
- ・ 渡日児童生徒に対する日本語指導支援員の時間数を、他市並に改善されたい。
- ・ 天神山図書館跡は、地域との十分な連携のもとで、在り方を検討されたい。
- ・ 学校舎へのエレベーター設置は、当事者からの長年の要望を実現されたことを大いに評価します。今後の予算措置はニーズに対応して毎年確保するよう努められたい。
- ・ 特別教室へのエアコン設置を進められたい。
- ・ 災害時の保護者への連絡手段が、教職員の私物携帯電話が前提となっているが、通信体制の整備を図られたい。
- ・ 特別支援教育支援員を必要に応じた配置にされたい。
- ・ 市独自の6年生の35人以下学級を多学年へも拡充されたい

⑤ 青少年のひきこもり

- ・ 青少年のひきこもりの実態を把握し、問題解決を担当する主管課を早急に決定されたい。具体的対策の構築は、市民団体との連携を重視されたい。

⑥ 特定不妊治療・不育症治療

- ・ ニーズが高まる特定不妊治療助成や不育症治療は、当事者感情に配慮したより使いやすい制度にする為、高槻での実態を把握し、助成対象者を拡大した上での周知徹底に努められたい。

4、行きかう人々で賑わう魅力あるまち

① 京大農場跡地

- ・ 安満遺跡公園は、調査結果を参考にして構想を策定されたい。多くの市民が集まり、憩い楽しめるように、まずは整備の基本的スタンスを明確にして、これからも市民の思いに耳を傾け、意見を反映されたい。

② 富田複合庁舎

- ・ 高槻の副都心と位置付ける富田のまちづくりと関連する「富田複合庁舎（案）の現状の構想を明らかにし、現在の支所機能を整え、富田のまちを南北に分断している道路をいち早く整備されたい。

③ 芥川、三好山を含む摂津峡公園の周辺整備

- ・摂津峡公園は、周辺の芥川山城跡のある三好山や帯仕山と一体的に整備されたい。周辺開発が進んでおり急いで取組む必要がある、当面はその間を結ぶ道を整備されたい。また、摂津峡の環境を守るため、不法投棄をなくす抜本的対策を講じられたい。

5、都市の特徴を利用した活力あるまち

① 景気対策と中小企業施策

- ・「地域における商業の活性化に関する条例」を踏まえ、本市産業振興ビジョンの推進と、「がんばるお店と商店街づくりプロジェクト」施策を積極的に取組まれたい。
- ・中小企業の育成・活性化に向けて、コミュニティビジネス、ものづくり高度化支援、起業家育成等のチャレンジ・プロジェクトを、融資制度の充実、技術支援、経営や人材育成の総合施策を国・府連携させて推進されたい。
- ・厳しい経済環境の中、市内の企業とも積極的に交流し、情報交換と企業活動における課題を共有化を図り解決されたい。
- ・企業立地促進制度推進の為、市内産業の振興、雇用機会を拡大されたい。
- ・中心市街地活性化基本計画の実行体制を整備されたい。

② 農林業政策

- ・農林業振興ビジョンの基本目標「市民とともにめざす豊かな『恵み資源』の創造」実現の為、農林業者、市民、NPO、企業、行政が協働する取組みを推進されたい。
- ・農業従事者の高齢化と後継者問題、生活雑排水による農業用水汚染問題、水資源確保等、農業委員会からの建議を踏まえて生産環境を改善し、具体的な計画を策定し、農業振興を図られたい。
- ・檜田地域活性化の為、地域の実情と要望の把握に努め、緑の村関連事業施設や生産団体、土地改良区、そして新たに結成された「檜田地区農林業振興協議会」とも連携し、民間活力も取り入れた施策を展開されたい。
- ・転作田、休耕田を活用し、市民と自然、農業との多様なふれあいの場をつくる、朝市の育成や景観植物、市民農園の整備拡大を図られたい。
- ・地元農産物の学校給食への活用について引き続き拡大推進されたい。

③ 地学連携の推進

- ・高槻に立地する大学との連携をより深められたい。特に関西大学ミューズキャンパスとは、施設開放など当初予定された事業実施に向け調整を進め、市立図書館ミューズ子

ども分室の、日・祝・夏季休業中の開館を求められたい。

6、地域に元気があって市民が誇れるまち

① タウンミーティング

- ・市長と語るタウンミーティングは特定団体に限らない形で、広く市民を対象として開催されたい。
- ・タウンミーティングの政策形成過程での位置づけを確実に確認されたい。

② 男女共同参画

- ・男性職員の育児休暇取得推進に努められたい。
- ・各審議会に女性委員を大胆に登用されたい。
- ・若年層の中でも、特に16歳から20歳に対する、DV、妊娠、子育て等、自立に向けた総合支援相談を推進されたい。

③ 都市間交流の推進

- ・姉妹友好都市間に相互性ある交流を継続されたい。
- ・韓国との姉妹都市交流を開始されたい。